

平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	医療部門			新規/継続	継続事業	整理番号	6505001			
				分割/統合						
				事業の分割/統合の内容						
関連予算科目	会計	病院事業会計			事業所管課	市立市民病院総務課				
	款	企業会計では事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。			連絡先	(078)912-2323				
	項				自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 25 年度		
	目				根拠法令・要綱等		明石市病院事業の設置等に関する条例、明石市立病院管理規則			
	事業				実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
第4次長期総合計画		(章) 第1章 健やかで安心して暮らせるまち			<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理				
		(節) 第5節 医療の充実								
個別計画										

事業の目的	対象(誰を・何を)	患者・市民							
	意図(どういう状態にしたいのか)	患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応える。							

事業内容	地域住民の医療・福祉に寄与するため、一般病床398床、18の診療科を標榜し住民の健康維持に努めており、以下の取組を行ってきた。 ①高度な医療、医療ニーズに対応するため診療体制の充実を図ってきた。 昭和63年麻酔科の標榜、平成2年精神科、理学診療科を標榜、平成9年心療内科新設、平成9年肝臓内科を院内標榜、平成15年循環器科、神経内科を標榜等 ②平成13年救急病院として認定を受け、2次救急病院として救急診療を行っている。 ③平成19年医療情報を電子化し、医療安全性の向上と待ち時間の短縮、業務の効率化のためにオーダーリングシステムを導入した。 ④平成20年病院機能評価(Ver5.0)の認定を受け、医療に対する信頼の向上に努めている。 ⑤平成21年 看護基準10対1から7対1を取得し、急性期病院に求められる看護体制を強化した。またDPC対象病院となった。 ⑥クリニカルパスの導入 クリニカルパスとは、簡単に述べると「一定の疾患や疾病を持つ患者に対して、入院指導、患者へのオリエンテーション、検査、ケア処置、退院指導などをスケジュール表のようにまとめてあるもの」。パスの利用により、医療の質向上、患者の満足度向上を図っている。 ⑦医療機器を導入し、診療内容の充実と医療水準の向上に努めている。 ⑧平成22年度にはMRI・CTについてフィルムレスとした。								
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	2,479,600	2,621,531	5,101,131	8,784	0	4,473,855	618,492	正規	280.00	アルバイト	23.00
21決算	2,106,396	2,565,335	4,671,731	2,843	0	4,028,609	640,279	再任用	3.00	その他	0.00
22当初予算	2,620,003	2,616,674	5,236,677	6,000	0	4,629,325	601,352	臨時	34.00	合計	340.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
	材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等	1,525,155			
	経費	事業経営に必要な経費	791,522			
	減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	150,686			
	研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用	37,039			
	医業外費用	企業債利息等	115,601			
	合計					

整理番号	6505001	事務事業名	医療部門
------	---------	-------	------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	1日当り診療単価	医療の質が向上すれば単価は上がる	円	入院 37,636 外来 9,738	入院 43,652 外来 10,284	入院 46,728 外来 10,357
	1日当り患者数	地域医療連携や医療の質が向上すれば入院患者数は増加する	人	入院 306	入院 208	入院 215
指標で表せない成果						
患者満足度						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	・患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守るには不可欠。
	有効性	高い	・医療を行ううえで不可欠である。
	効率性	低い	・医師、看護師の person 費が支出の5割近くを占めており効率性は低い。また、医師、看護師が不足する中で person 費の削減は困難である。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	拡充	・診療体制の復元を図る必要がある。
	手法の改善	維持	・引き続き継続する。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針						
・経費削減に引き続き努めながら、医師の確保、地域医療サービスの安定的供給、高度医療の提供、患者サービスの向上に取り組んでいく。						

平成23年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）	23年度予算事業費増減見込（千円）					
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	コメディカル部門		新規/継続	継続事業	整理番号	6505002		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	病院事業会計	事業の分割/統合の内容					
	款	企業会計では事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。	事業所管課	市立市民病院総務課				
	項		連絡先	(078)912-2323				
	目		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 25 年度		
	事業		根拠法令・要綱等	明石市病院事業の設置等に関する条例、明石市立病院管理規則				
第4次長期総合計画	(章) 第1章 健やかで安心して暮らせるまち	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理					
	(節) 第5節 医療の充実							
個別計画								

事業の目的	対象(誰を・何を)	患者・市民						
	意図(どういう状態にしたいのか)	患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応えるよう、医療部門を直接支援する。						

事業内容	コメディカルは診療を支援する部門。その業務は、リハビリ、臨床検査、放射線など多岐にわたる。これらスタッフと医師、看護師との連携のもとに、患者の診療・治療が進めていく。以下主なコメディカルの事業内容。 ①放射線部門 放射線部門では、CTやMRIなどの装置で患者の体の内部を撮影し、病気の診断を行う ②リハビリテーション部門 障害を持った患者に対して、機能障害の改善や、日常生活における動作能力を向上させるための訓練などを行う。 ③臨床検査部門 患者の体の状態を調べるため、さまざまな検査を行う。検査には、「一般」「血液」「血清」「生化学」「細菌」「病理」「生理」がある。 ④薬剤部門 主な業務内容は、処方内容の確認、薬の調剤や調製、薬の説明や相談への対応など。また、医薬品の適正管理および医薬品に関する最新情報の収集や提供を行っている。 ⑤栄養管理部門 患者の病状や年齢に合わせた治療食を提供するとともに、食事療法が必要な場合には管理栄養士が栄養面での配慮や食事のとり方などの説明を行う。また、入院時には栄養状態を確認し、回復力を高めるため、栄養・食事面からのサポートを行っている。							
------	---	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	1,299,930	852,228	2,152,158	0	0	1,891,218	260,940	正規	55.00	アルバイト	0.00
21決算	1,343,429	812,800	2,156,229	0	0	1,906,972	249,257	再任用	2.00	その他	0.00
22当初予算	825,138	814,706	1,639,844	0	0	1,451,921	187,923	臨時	15.00	合計	72.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等	36,823		
	経費	事業経営に必要な経費	549,901			
	減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	153,552			
	研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用	7,333			
	医業外費用	企業債利息等	77,529			
					合計	825,138

整理番号	6505002	事務事業名	コメディカル部門
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	1日当り診療単価	医療の質が向上すれば単価は上がる	円	入院 37,636 外来 9,738	入院 43,652 外来 10,284	入院 46,728 外来 10,357
	1日当り患者数	地域医療連携や医療の質が向上すれば入院患者数は増加する	人	入院 306	入院 208	入院 215
指標で表せない成果						
患者満足度						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応るには不可欠である。
	有効性	高い	・医療を行ううえで不可欠である。
	効率性	高い	・外来については、院外処方箋を実施している。 ・検査について外部委託する部分については、制限付き競争入札を導入している。 ・給食部門については、調理業務を委託している。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・診療を支援する部門であり、継続して行う
	手法の改善	維持	・診療を支援する部門であり、継続して行う
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針

・コメディカルは、医師と共同して患者の治療・ケアにあたる医療スタッフであり、近年は医療技術の高度化・細分化によって、看護やリハビリ、栄養指導、メンタルケアなどの専門分野の重要度が増している。すべての医療スタッフが情報を交換しながら共同して治療にあたるチーム医療の考え方が不可欠であり、医療部門をサポートしていく。

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)						
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳				
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	
	・委託料(検体検査業務件数の見直し)						
	削減見込①	-30,000	0	0	-30,000	0	
増加見込②	0	0	0	0	0		
差引①+②	-30,000	0	0	-30,000	0		

平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	診療支援部門			新規/継続	継続事業	整理番号	6505003					
				分割/統合								
				事業の分割/統合の内容								
関連予算科目	会計	病院事業会計			事業所管課	市立市民病院総務課						
	款	企業会計では事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。			連絡先	(078)912-2323						
	項				自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 25 年度				
	目				根拠法令・要綱等			明石市病院事業の設置等に関する条例、明石市立病院管理規則				
	事業	実施方法			<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他					
第4次長期総合計画		(章) 第1章 健やかで安心して暮らせるまち										
		(節) 第5節 医療の充実										
個別計画												
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理										

事業の目的	対象(誰を・何を)	患者・市民							
	意図(どういう状態にしたいのか)	患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応えられるよう、医療部門を間接的に支援する。							

事業内容	診療支援部門は医療部門を側面からサポートする。主な診療支援部門は以下の通り ①臨床工学部門 生命維持管理装置や医療機器の専門家としてそれらを安全に操作、管理し他の医療スタッフの方々と連携しながら安全な医療を提供できるよう努め、安全な医療・看護が行われるよう日々感染対策を行っている。 ②看護補助部門 看護助手は看護師を補助し、クレークは外来、病棟において事務を行う。 ③中央材料部門 病院全体の手術や処置で使用する器械・器具の洗浄 包装 滅菌を行い現場へ供給している。 ④医療安全推進部門 医療事故の予防・再発防止対策及び発生時の適切な対応など医療安全体制を確立し、適切かつ安全で質の高い医療サービスの提供を図ることを目的とし、インシデント・アクシデント事例を収集し、調査・分析、職員への啓発、広報及び研修などを行っている。 ⑤地域医療連携部門 地域の中核病院として地域の病院との連携に努め、地域住民の方々のニーズに合った医療の提供を目指し、紹介患者の予約受付、他医療機関等との連絡調整及び情報交換、入院患者の病院・各種施設・在宅等への退院支援業務を行っている。 ⑥診療録管理部門 患者が退院後、診療録が速やかに搬入されるよう病棟と連絡を取り合い診療録を保存・管理を行っている。								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	130,990	286,931	417,921	0	0	417,921	0	8.00	19.00	0.00	0.00
21決算	137,715	265,114	402,829	0	0	402,829	0	2.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	124,430	284,072	408,502	0	0	408,502	0	31.00	60.00	0.00	0.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
	材料費	薬品費・診療材料費・給食材料費等	28,437			
	経費	事業経営に必要な経費	73,869			
	減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	7,738			
	研究研修費	学会参加等研修や研究にかかる費用	3,562			
	医業外費用	企業債利息等	10,824			
						合計

整理番号	6505003	事務事業名	診療支援部門
------	---------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	1日当り診療単価	医療の質が向上すれば単価は上がる	円	入院 37,636 外来 9,738	入院 43,652 外来 10,284	入院 46,728 外来 10,357
	1日当り患者数	地域医療連携や医療の質が向上すれば入院患者数は増加する	人	入院 306	入院 208	入院 215
指標で表せない成果						
患者満足度						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応るには不可欠である。
	有効性	高い	・医療を行ううえで不可欠である。
	効率性	やや低い	・効率性を求める部門ではない。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・診療を側面から支援する部門であり、継続して行う
	手法の改善	維持	・診療を側面から支援する部門であり、継続して行う
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針						
・医療を行ううえで不可欠な部門であり、継続して医療部門をサポートしていく						

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	医事部門	新規/継続	継続事業	整理番号	6505004	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	病院事業会計	事業の分割/統合の内容			
	款	企業会計では事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。	事業所管課	市立市民病院総務課		
	項		連絡先	(078)912-2323		
	目		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 25 年度
	事業		根拠法令・要綱等	明石市病院事業の設置等に関する条例、明石市立病院管理規則		
第4次長期総合計画	(章) 第1章 健やかで安心して暮らせるまち	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	(節) 第5節 医療の充実					
個別計画						

事業の目的	対象(誰を・何を)	患者・市民
	意図(どういう状態にしたいのか)	患者サービスの向上を図ると同時に、医療部門へのサポートを行う。

事業内容	<p>医事部門は、医療事務を行う部門であり、その業務内容は、来院される患者さんの受付事務、入退院事務、診療費の請求及び診療報酬請求事務などである。</p> <p>また、来院される患者さんと一番最初に接する部門であるため、気持ちよく診療を受けていただくことができるよう患者サービスの向上に努めている。</p> <p>①平成19年度に、検査、処方などに係る電子情報システムであるオーダーリングシステムを導入し、医療現場の業務を電子化することにより、待ち時間の短縮を図っている。</p> <p>また、オーダーリングシステムの導入は、医療部門における医療安全の向上及び業務の効率化にも寄与している。</p> <p>②平成21年3月から、診療費等の支払いにクレジットカード決済を導入し、患者サービスの向上と未収金対策を図っている。</p> <p>なお、平成20年度の取扱件数及び金額は、462件、14百万円(平成21年3月分のみ)である。</p> <p>③平成21年4月から、患者さんの病名や症状をもとに手術などの診療行為の有無に応じて、厚生労働省から定められた1日当たりの診断群分類点数をもとに医療費を計算する新しい会計方式であるDPCを導入した。</p> <p>DPCの導入により、患者さんの属性、疾病や診療行為ごとの情報が標準化されるため、医療部門における医療の質の向上に寄与している。</p>
------	---

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	126,243	44,078	170,321	0	0	170,321	0	正規	4.00	アルバイト	0.00
21決算	131,104	45,600	176,704	0	0	176,704	0	再任用	0.00	その他	0.00
22当初予算	135,115	46,636	181,751	0	0	181,751	0	臨時	2.00	合計	6.00

22年度当初予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		材料費	診療材料費・医療消耗備品費	681		
	経費	事業経営に必要な経費	54,966			
	減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	69,044			
	研究研修費	研修にかかる費用	482			
	医業外費用	企業債利息等	9,942			
					合計	135,115

整理番号	6505004	事務事業名	医事部門
------	---------	-------	------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	過年度医業未収金	未収金が少ない程回収が効率的に行えている。	千円	19,457	17,442	18,000
	診療報酬査定減点率	請求点数に対する減点点数で少ない程良い。	%	入院0.43 外来0.47	入院0.28 外来0.54	入院0.28 外来0.54
指標で表せない成果						
患者満足度、待ち時間						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・病院事業を経営するにあたって医事部門の役割は不可欠であり、必要性が認められる。
	有効性	高い	・医療事務が適正かつ円滑に実施されていることが認められる。 ・診療費等の支払いにクレジットカード決済を導入するなど先進的な取組みが行われている。
	効率性	高い	・専門的知識が必要な医療事務業務には民間委託が行われており、業務の効率化が図られていると認められる。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・患者サービスを保つ、また医療部門をサポートするには最低限維持しなければならない。
	手法の改善	維持	・現行のまま継続する。
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針						
<ul style="list-style-type: none"> ・病院事業を経営するにあたって医事部門の役割は不可欠であり、引き続き、複雑化する診療報酬制度への対応を図ると同時に、DPC分析による情報を医療部門へ提供していく。 ・引き続き、未収金解消に向けた取組みを図っていく。 						

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	総務部門			新規/継続	継続事業	整理番号	6505005			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	病院事業会計			事業の分割/統合の内容					
	款	企業会計では事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。			事業所管課	市立市民病院総務課				
	項				連絡先		(078)912-2323			
	目				自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 25 年度		
	事業				根拠法令・要綱等		明石市病院事業の設置等に関する条例、明石市立病院管理規則			
第4次長期総合計画	(章)	第1章 健やかで安心して暮らせるまち			実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	(節)	第5節 医療の充実								
個別計画										

事業の目的	対象(誰を・何を)									
	患者・市民									
意図(どういう状態にしたいのか)										
患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応えられるよう医療部門等を支援する。										

事業内容	<p>総務部門は病院運営に係る様々な事務処理をとりおこなっている。</p> <p>①事業の計画及び総合調整、職員の服務及び人事給与、職員の研修及び福利厚生などに関する事務を行うこと。</p> <p>②予算の編成及び執行の調整、決算及び財務諸表の作成などに関する事務を行うこと。</p> <p>③施設及び固定資産の維持管理、建物等の増改築及び営繕計画などに関する業務を行うこと。</p> <p>部門内は3つの係(庶務係・経理係・施設係)に分かれており、上記の業務内容を細分化し、日々の業務にあたっている。市民病院は様々な職種の人職員が働いており、それぞれが密接に連携し、協力しあうことで患者が充実した医療サービスを利用できるように医師、看護師等を陰から支えている。</p>									
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	234,788	182,119	416,907	0	0	416,907	0	正規	15.00	アルバイト	0.00
21決算	69,787	174,590	244,377	0	0	244,377	0	再任用	0.00	その他	0.00
22当初予算	123,024	183,302	306,326	0	0	306,326	0	臨時	5.00	合計	20.00

22年度当初予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		材料費	診療材料費・医療消耗備品費	1,704		
	経費	事業経営に必要な経費	36,152			
	減価償却費	固定資産にかかる減価償却費	4,980			
	研究研修費	研修にかかる費用	1,784			
	医業外費用	企業債利息・消費税雑損失等	78,404			
				合計		123,024

整理番号	6505005	事務事業名	総務部門
------	---------	-------	------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	時間外勤務時間数	事務の見直し、効率化により、総務課の時間外時間数を削減することを成果指標とする。	時間	5,303	4,297	4,300
	入札率	備品査定価格に対する入札価格	%	90.8	89.4	88
指標で表せない成果						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	・市民から信頼される高度で良質な医療を提供できるように医師、看護師等を陰から支えるためには不可欠である。
	有効性	高い	・院内保育所の開設により病院職員が子育てをしながら働きやすい環境づくりを推進している。 ・充実した医療サービスを提供できるようにな体制づくりに貢献していると思われる。 ・SPD(物品管理供給一元化)システムの見直しにより、診療材料費のコスト削減が図られたと思われる。
	効率性	高い	・院内保育所の開設、研修・指導体制の充実など、病院職員にとって働きやすい環境を整え、魅力ある病院づくりの取り組みが図られている。 ・SPD(物品管理供給一元化)システムの見直しを行い、診療材料費の効率的な管理の推進を図っている。 ・薬品、診療材料の専門的知識を持った業者による継続的な価格交渉やスケールメリットを活かせるよう診療材料の同種材料の集約化や共同購入などを行っている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・なくてはならない業務であり、現状のまま継続する。
	手法の改善	維持	・現状のまま継続する。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
・今後とも最少の経費で事務を遂行出来るよう、職員それぞれスキルアップを図る。また地方独立行政法人化に向けての準備を進める。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	固定資産購入費			新規/継続	継続事業	整理番号	6505006		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	病院事業会計			事業の分割/統合の内容				
	款	企業会計では事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。			事業所管課	市立市民病院総務課			
	項				連絡先	(078)912-2323			
	目				自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 25 年度	
	事業				根拠法令・要綱等	明石市病院事業の財務に関する特例を定める規則			
第4次長期総合計画	(章) 第1章 健やかで安心して暮らせるまち	(節) 第5節 医療の充実		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他		
個別計画				<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理				

事業の目的	対象(誰を・何を)	患者・市民
	意図(どういう状態にしたいのか)	患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応える。

事業内容	21年度はRI装置をはじめ器械備品を57品目を購入した。 22年度は3.0テスラMRIをはじめ器械備品を40品目を購入予定。
------	---

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	236,320	0	236,320	0	0	236,320	0	正規	0.00	アルバイト	0.00
21決算	258,762	0	258,762	2,927	252,400	3,435	0	再任用	0.00	その他	0.00
22当初予算	483,000	0	483,000	0	482,000	1,000	0	臨時	0.00	合計	0.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		固定資産購入費	備品購入費	483,000		
					合計	483,000

整理番号	6505006	事務事業名	固定資産購入費
------	---------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	固定資産回転率	医業に投下された固定資産と医業収益との割合を示すもので、設備機器の利用効率を表す。年 1.1～1.3回転を目標とし、回転数が多い程設備機器の利用効率が良好である。	回	0.9	0.8	0.9
指標で表せない成果						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	・安全・安心で質の高い医療を継続していくには不可欠
	有効性	高い	・安全・安心で質の高い医療に役立っている
	効率性	高い	・査定に際しては収益にどれだけ貢献できるかを考慮している。 ・院内に機種選定委員会を設け、選定に際しては様々な角度から議論を重ねている。また同程度の効果があるような場合にはより廉価な機種を選定している。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・継続して行う
	手法の改善	維持	・継続して行う
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
・安全・安心で質の高い医療を継続していくには不可欠であるが、厳しい経営状況の中、必要性、効率性等を考慮し必要最小限とする。	

平成23年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）	23年度予算事業費増減見込（千円）						
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳				
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	
	・平成22年度はMRIを更新する為増額となったが、23年度は今のところ高額な備品の更新予定はない。	削減見込①	-180,000	0	-180,000	0	0
		増加見込②	0	0	0	0	0
	差引①+②	-180,000	0	-180,000	0	0	

平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	企業債償還金	新規/継続	継続事業	整理番号	6505007		
		分割/統合					
		事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	病院事業会計	事業所管課	市立市民病院総務課			
	款	企業会計では事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。	連絡先	(078)912-2323			
	項		自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	目		根拠法令・要綱等				地方財政法
	事業		実施方法				<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
第4次長期総合計画	(章)						
	(節)						
個別計画							

事業の目的	対象(誰を・何を)
	借入資本金(企業債)
	意図(どういう状態にしたいのか)
	元本を返済する。

事業内容	建物・備品の取得にあたっては企業債を活用しているので、償還期限が来た元本を償還する。 平成20年度償還額 336,635,643円 未償還額 4,614,308,134円 平成21年度償還額 387,080,167円 未償還額 4,479,627,967円 平成22年度償還予定額 381,032,605円 未償還額 4,580,595,362円

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	336,635	0	336,635	0	0	180,656	155,979	0.00	0.00	0.00	0.00
21決算	387,080	0	387,080	0	0	259,767	127,313	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	381,033	0	381,033	0	0	150,297	230,736	0.00	0.00	0.00	0.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
	企業債償還金	企業債(建物・備品等にかかる)償還金	381,033			
	合計					

整理番号	6505007	事務事業名	企業債償還金
------	---------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	企業債元利負担率	医業収益に対する企業債償還元利金 あまり高くなると経営を圧迫する。	%	8.4	11.2	10.1
	指標で表せない成果					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・企業債を活用した場合には当然発生する費用である。
	有効性	高い	・企業債を活用して資産を取得することは、世代間負担になるし、経営が厳しい状況では有用である。
	効率性	高い	・最低限の人員で事務を行っており効率化の余地はない。

●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・企業債を活用した場合には当然発生する費用である。
	手法の改善	維持	・利息負担を減らすため、融資金利の低い借入期間に申し込みをしている。

●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止

今後の事業展開方針

・企業債を活用して資産を取得することは、世代間負担になるし、経営が厳しい状況では有用である。ただし金利が上昇した場合は利息が経営を圧迫する場合もあるので、慎重にすべきである。

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)

・平成21年度購入(器械備品)分の償還が開始するので増加となる。

23年度予算事業費増減見込(千円)

対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
		国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
削減見込①	0	0	0	0	0
増加見込②	95,000	0	0	45,000	50,000
差引①+②	95,000	0	0	45,000	50,000

平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名 敷金		新規/継続	継続事業	整理番号	6505008			
		分割/統合						
関連 予算 科目	会計	病院事業会計		事業の分割/統合の内容				
	款	企業会計では事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。		事業所管課	市立市民病院総務課			
	項			連絡先		(078)912-2323		
	目			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 25 年度	
	事業			根拠法令・要綱等		明石市病院事業の財務に関する特例を定める規則		
第4次長期 総合計画	(章)			実施方法				
	(節)			<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他		
個別計画				<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			

事業の 目的	対象(誰を・何を)	医師		
	意図(どういう状態にしたいのか)	医師の確保		

事業 内容	医師の住宅確保に必要な敷金を支払う。 借上げ軒数 平成20年度2軒 平成21年度1軒			

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	850	0	850	0	0	850	0	正規	0.00	アルバイト	0.00
21決算	100	0	100	0	0	100	0	再任用	0.00	その他	0.00
22当初予算	3,000	0	3,000	0	0	3,000	0	臨時	0.00	合計	0.00

22 年度 当初 予算 明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		敷金	医師住宅借上げにかかる敷金	3,000		
					合計	3,000

整理番号	6505008	事務事業名	敷金
------	---------	-------	----

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	借上げ件数	医師の赴任に係る事務手続きの軽減に役立っているか。	件	2	1	3
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・医師確保には必要
	有効性	高い	・医師の赴任に係る事務手続きの軽減に役立っている。
	効率性	高い	・最低限の人員で事務を行っており効率化の余地はない。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・遠方からの医師確保に際しては住宅の提供は必要不可欠である。
	手法の改善	維持	・遠方からの医師確保に際しては住宅の提供は必要不可欠である。
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
・継続して行う	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)					
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
	削減見込①	0	0	0	0	0
	増加見込②	0	0	0	0	0
差引①+②	0	0	0	0	0	

平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	医師修学等資金貸付金	新規/継続	継続事業	整理番号	6505009	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	病院事業会計	事業の分割/統合の内容			
	款	企業会計では事業の区分と予算科目が連動しないため、使用しません。	事業所管課	市立市民病院総務課		
	項		連絡先	(078)912-2323		
	目		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度
	事業		根拠法令・要綱等	明石市民病院医師修学等資金貸与条例		
第4次長期総合計画	(章)					
	(節)					
個別計画						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				

事業の目的	対象(誰を・何を)	医学生・研修医等
	意図(どういう状態にしたいのか)	将来の明石の医療を担う医師の育成及び確保

事業内容	明石市立市民病院において医師の業務に従事しようとする方に対し、修学又は研修に要する資金を無利息で貸与することにより、医師の確保を図る。 新規貸与数 平成20年度12名 平成21年度3名
------	---

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	24,000	0	24,000	0	0	0	24,000	0.00	0.00	0.00	0.00
21決算	30,000	0	30,000	0	0	0	30,000	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	41,400	0	41,400	0	0	0	41,400	0.00	0.00	0.00	0.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
		医師修学等資金貸付金	医学生・研修医等に対して修学資金を貸し付ける	41,400		
					合計	41,400

整理番号	6505009	事務事業名	医師修学等資金貸付金
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	就職率	貸与したうち何人が市民病院に就職したか	人	0	0	0
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・医師が不足しており医師の確保には必要である。
	有効性	高い	・有効性は高いが、平成20年度から開始したため、短期間で成果はでない。
	効率性	高い	・最低限の人員で事務を行っており効率化の余地はない。
●評価: 高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・現状のまま継続する
	手法の改善	維持	・現状のまま継続する
●事業の規模の判断: 拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断: 維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
・医師が確保できるよう現状のまま継続する。	

平成23年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)	23年度予算事業費増減見込(千円)						
	対22年度 当初予算比	合計	財源内訳				
			国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	
	・行政改革による一般会計からの繰入減						
	削減見込①	-1,700	0	0	0	-1,700	
増加見込②	0	0	0	0	0		
差引①+②	-1,700	0	0	0	-1,700		